

福島復興・障がい者就労支援 バザールを開催しました。

株式会社東京エネシスは、2018年4月13日（金曜日）本社（東京都中央区）におきまして、「福島復興および障がい者就労支援バザール」を労働組合と共催で実施しました。

福島復興の一助として、県産品を購入することによる支援を継続しており、今年で4年目となりました。福島県の県産品では、なみえ焼きそばや喜多方ラーメン、ままだおるなど福島県を代表する商品が用意されました。

また、同時に障がい者の就労支援を目的に、全国の障がい者施設の商品を取扱う株式会社嶋村商店「まदैマーケット」（東京都江戸川区）にも出店していただきました。

同社では、しいたけ栽培や小松菜の食品加工などを通じ「障がいのある人と地域を結ぶ」ことをコンセプトに、特別支援学級からの実習生受け入れなどを積極的におこなっております。用意された商品は、椎茸うどんや将軍小松菜うどん、江戸川区産の小松菜などが販売されるとともに、山形県の障がい者施設でつくられたおからを使ったクッキーなどもあわせて販売していただきました。

当社は、社会の一員として、積極的に企業の社会的責任（CSR）を果たし、社会の持続的発展に、今後とも取り組んでまいります。

